

指定管理者制度導入施設
年度評価シート

評価年度

令和6年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立産業会館
指定管理者名	公益財団法人相模原市産業振興財団
指定期間	令和6年度から令和10年度まで
施設設置条例	相模原市立産業会館条例
施設の設置目的	産業を振興し、及び市民の産業に対する理解を深める場を提供することにより、市内産業の健全な発展を図り、もって活気とにぎわいのある豊かな都市の創造に寄与すること（相模原市立産業会館条例第2条）
施設概要	相模原市中央区中央3丁目12番1号 敷地面積1,369.30㎡ 建築面積1,038.20㎡ 延床面積4,836.73㎡ 1階 多目的ホール 2階 展示室 3階 大研修室、小研修室 4階 特別会議室（国際商談室）、懇談室（中研修室） 地下1階 O A 研修室、多目的室
施設所管課	産業支援・雇用対策課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	70,641	76,455	79,434				
利用料金合計（円）	20,221,803	20,787,217	23,351,728				

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	評価基準に従い数値上はC評価となる。指標1については前年度の実績値から2.1ポイント上昇し、目標値に対して98%の達成度となっていることから一定程度評価できる。また、今回より設定した指標2については、達成度が81.6%と低い状況にあることから、目標値を達成できるよう利用者ニーズに応える新たな取組をするなど、工夫が必要と考える。

指標1	
指標名（単位）	産業会館施設利用率(%)
指標式と指標の説明	利用率＝利用日（区分）数/利用可能日（区分）数 1日3区分（午前・午後・夜間）で数値は区分で算出 ※施設休止期間は含まない

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（単位）	45.0%	45.5%	46.0%	46.5%	47.0%	47.5%	48.0%
実績値（単位）	41.1%	43.0%	45.1%				
達成度（％）	91.3%	94.5%	98.0%				

指標2							
指標名（単位）	【新規指標】指定管理者の取組により利用につながった人数 （PC・プログラミング教室及びIT版よろず無料相談事業等の参加者数）（人）						
指標式と指標の説明	会館の利用者増・利用率向上に向けた提案事業（見直し・新規事業）として取組む事業の参加者数						
項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（単位）			450	500	550	600	600
実績値（単位）	400	332	367				
達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	81.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	時代のニーズに合わせ、幅広い年齢層を対象としたプログラミング教室を開催し、「産業会館まつり」としてプログラミングコンテストを実施するなど、一貫性のある企画を工夫して開催している。また、産業に関する情報の発信や受付窓口の装飾などの施設の活性化につながる取組を行い、産業会館の設置目的に即した自主事業を積極的に展開しており高く評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
該当なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
OA研修室活用事業（無料PC教室）	通年	小学校でのプログラミング教育の実施を踏まえ、プログラミング的思考への一助を目的に、幼稚園年中（5歳以上）から小中学生を中心として大人まで幅広い年齢層に対応した講座を用意した。 また、市内中小企業等のIT化やホームページ等の充実などの相談及び求職者向けに必要なとするITスキルからの面接や就職活動のため新規に相談事業を開始した。開催講座数 81 ①プログラミングプレ体験教室（年中～小学2年） 3人 ②プログラミング教室（小学3年～中学） 23人 ③PC・スマホ体験 65人 ④18歳からのプログラミング体験 18人 ⑤ITよろず無料相談（新規） 8社	○

産業会館利用促進事業 (産業会館まつり)	令和6年 8月17日(土) 、18日(日)	「産業会館まつり」として、さがみはらプログラミングコンテスト実行委員会と共催し、会館の更なる利用促進とこれからの時代に求められる産業人材の育成に繋がる機会のひとつとして事業を開催した。 ①R6.8.17(土) 親子ワークショップ 簡単なゲーム機(コイン落としゲーム)を親子で自作体験するワークショップ 参加者 全2回、20組40名 ②R6.8.18(日) さがみはらプログラミングコンテスト 小学生部門、中学生以上部門に分け、各自作成したオリジナルプログラムを募集し、事前審査を通過した入選作20作品の会場での体験展示と自作プログラムのプレゼンテーションを行い、審査員により最優秀賞などの各賞を決定した。 参加者、来場者 210名	◎
各種情報提供及び施設利用促進事業	通年	会館1階ロビーを中心に情報提供コーナーにおける各種パンフレット・チラシ類や会館の保守予定、利用予定表、利用案内パンフレットなどの配架・掲示を行うとともに、デジタルサイネージ、モニターを活用し、市や他の産業支援機関等と連携した各種情報を提供するなど情報提供と利用促進を図った。 また、受付窓口には季節等に合わせたディスプレイを行い(年5回程度更新)、来館者等の目を楽しませている。	◎
料金のパッケージ化による各種事業活動促進及び施設利用促進事業	通年	企業イベントや音楽発表会等の各種産業・市民文化活動の促進のため、全館利用や多目的ホールと2階及び3階を同時に利用した場合のパッケージ料金の設定をし、会館の継続的な利用促進を図っている。 ・パッケージでの利用実績 4件	○
トライアル発注認定製品展示事業	通年	相模原市トライアル発注認定製品の紹介として、パンフレット等を会館施設内に配架するとともに、モニターを設置し、令和3年度7製品、4年度9製品、5年度6製品及び6年度11製品を映像で紹介し、製品カタログをラックに配架して周知を図るなど、認定製品の販路の開拓及び拡大を支援している。	◎
財団事業の会館活用事業	通年	産業振興財団が主催する「コミュニティビジネス推進事業」(12回)や創業・起業支援のための「さがみはら女性起業家支援事業」(4回)「創業実践セミナー」(3回)のほか、人材確保・育成事業関連のための「事業承継セミナー」や「SOHO支援事業」の2講座(各1回)を会館で実施し、産業支援・振興の情報、学習機会の提供及び産業会館の周知を進めた。	◎

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
飲料自動販売機設置事業	通年	館内に設置する自動販売機の売上による手数料収入を得た。 設置数 4社4台（R6.6月までは、5社5台） 手数料総額 258千円	○
来館者へ向けたモニターでの情報提供事業	通年	ロビーに設置したモニターから相模原市のPRを動画で、相模原市、財団・産業会館のイベント・事業案内をパワーポイントで、開館時間中情報提供を行った。 ・動画5本、パワーポイント10本	◎
周年事業記念品作成・配布による利用促進・周知事業	通年	令和5年度に会館の設置30周年を迎え、6年度は記念品（カラビナ付LEDライト、「ご利用案内」チラシ、クリアファイル）を作成・配布し、更なる利用促進、周知を図った。	◎
施設快適化事業	通年	節電効果や機能性の向上等を目的として、次の事業を実施した。 ・LED照明へ更新（地下0A研修室、講師控室等）	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	これまでの実績と同じく満足度は極めて高く、サービスレベルが十分に維持されていると評価できる。今後も、より多くの利用者の意見を取り入れ、満足度の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者に対し「お客さまアンケート」を実施 ※施設利用団体ごとのアンケート 時期：令和6年11月1日～30日 サンプル数：72件
目標値の基準	「お客さまアンケート」の満足度等経年比較を行う項目の内施設全体的な満足度を問う設問（7項目）について、肯定的評価数を総サンプル数－無回答等で除した値（％）で算出（※1）目標値は令和2年度から設定 （※2）令和6年度からの目標値、実績値の積算方法を変更した。（内容：2段階の肯定的評価「良い＝1、やや良い＝0.4」とウェイト付けを加えて積算）

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度（*）	令和7年度（*）	令和8年度（*）	令和9年度（*）	令和10年度（*）
目標値（％）	99.0%	99.0%	88.0%				
実績値（％）	99.5%	99.3%	91.2%				
達成度（％）	100.5%	100.3%	103.6%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	産業会館1階受付及び各室に意見箱を設置して、随時利用者の意見や要望等を受付易くする体制をとっている。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	決算において収入が支出を上回っているが、公認会計士である選考委員の意見として、団体本体の営業利益・営業利益率が継続的なマイナスになっていないかどうか次年度以降注視する必要がある、若干の懸念が報告されていることを踏まえ、A評価とした。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入（a）		97,983	104,287	97,498	
指定管理料		67,554	68,047	72,940	
利用料金収入		20,221	20,787	23,352	
その他の収入		10,208	15,453	1,206	
支出（b）		97,061	101,241	95,036	
人件費		20,234	21,050	21,871	
本社管理経費		0	0	0	
その他の支出		76,827	80,191	73,165	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		922	3,046	2,462	
自主事業収入（d）		462	396	258	
自主事業支出（e）		259	162	380	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		203	234	-122	
全体収支【(c)+(f)】		1,125	3,280	2,340	
備考	令和6年度自主事業収入について：飲料水自動販売機の設置が令和6年7月から1社1台減った（～R6.6月：5台 → R6.7月～：4台）				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和7年3月25日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目		取組状況
機種依存文字を使っていない。		○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。		○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。		○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。		○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。		○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。		○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。		○
その他取り組んでいること	ホームページについて、令和6年度に改修を実施済。	

9 指定管理者の自己評価

会館の管理運営業務については、お客さまアンケートの満足度で目標値を超えた良い評価を得ており、確実、的確な対応がとれていると考えている。令和5年度に利益還元の実業として、一部の貸室等のLED照明への交換修繕や軽量机等の備品更新などを実施したが、引き続き、6年度も同様の取組を進めており、施設の安全点検・快適化など指定管理者として必要、可能な対応を進めたものと考えている。

自主事業等では、産業会館まつりとしてプログラミングコンテスト等が定着してきており、今後も、会館の一般市民への周知等を進めるとともに、市内中小企業のIT化・DX化推進や就労支援策の一つとしての企業向けIT相談事業やPC教室の充実など、産業振興・就労支援等の一助となる取組を進めていく。

会館の利用率・収納額は前回の指定管理期間中で最良の数字となった昨年度と比しても向上しているが、目標値には及んでおらず、今回の指定管理期間中の取組として開始した貸室の時間貸し・パッケージ料金の設定やホームページの充実、老朽化した各設備の見直し等を通じた施設の使い勝手の向上などに着実に取組み、利用率の向上に注力していく。

10 所管課意見

成果指標についてはいずれの指標も目標値に達しなかったが、利用者ニーズを汲み取った企画提案事業を昨年度よりも多く実施したり、ホームページをリニューアルし充実を図るなど、積極的に利用促進に向け施設管理運営に取り組んだことは高く評価できる。ただし、成果指標2の目標値との乖離については目標達成に向け、利用者ニーズに応える新たな取組をするなど、工夫が必要。

Wi-Fi設置の周知や、利用者アンケートを令和7年度より6月に追加で実施するなど、昨年度のモニタリングでいただいた意見を早速実施しており、積極的に対策を講じていることは見て取れるので、より一層の創意工夫によって利用促進を図っていただきたい。

11 選考委員会意見

・ITよろず相談についてはよい取組であり評価する。また、他の指定管理施設で、ITを活用した施設運営に苦勞している施設があるので、是非相談に乗っていただきたい。

・利用率も徐々に上がってきており、積極的に利用率向上のための取組も実施している点は評価できる。

・空調設備について、基幹部分の更新は終わったとのことだが、今後も市民の方も利用する施設なので、壊れたら直すではなく、なるべく計画的な修繕をお願いします。

・「3 成果指標の達成度」については、評価基準に基づき達成度によりC評価となっているが、積極的な取組等は高く評価されるべきである。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

